



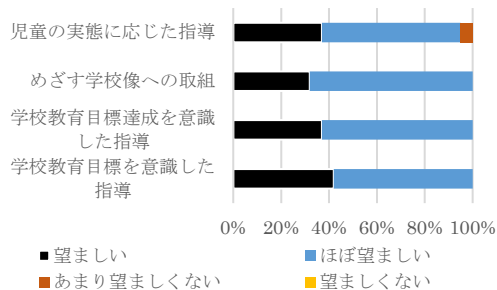
令和元年度 教職員自己評価結果のまとめ



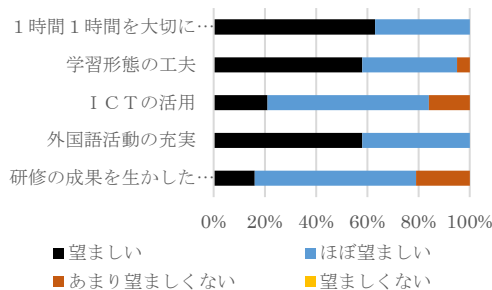
「教育目標が日々の活動に脈打っている学校」をめざし、『深谷の子 6 つの誓い』を道徳教育と関連させながら、地域の一人として生きることを意識した学習がおこなわれています。

夢や希望に向かい、挑戦し続ける意欲と態度が育つように、様々な学習形態の工夫を行い、最後までやりきる、やりきれぬ児童の育成に取り組んでいきます。

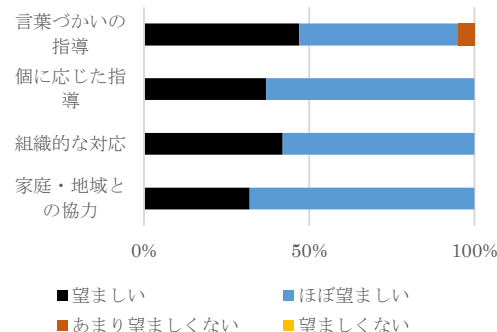
教育目標



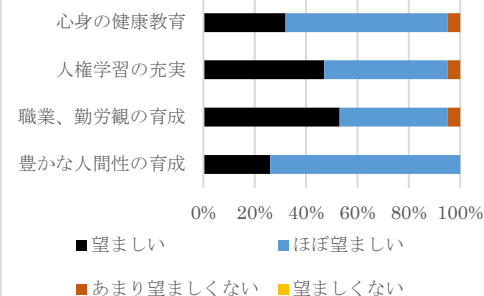
学習指導



生徒指導



心身の教育



川本北小学校の学校教育目標

- 「やさしく かしく たくましく」
- 学校教育目標については、「望ましい、ほぼ望ましい」が100%であり、さらに「学校教育目標を意識した指導」に関しても同様でした。川本北小の教員として学校教育目標を合言葉に教育活動が行われています。
 - 児童の実態に応じた適切な指導がされていますが、今後も更に子ども達一人ひとりの個性を重視した指導に努めていきます。

「学習指導」に関する項目

- 「学習活動」に関する5つの項目では、「1時間1時間を大切に授業」と「学習形態の工夫」「外国語活動の充実」がよい結果となっています。
- 昨年の算数の研究を生かしながら、授業形態の工夫や家庭学習への協力を得ながら学力向上を目指しています。指導内容を熟知し、導入を端的に行い、練り上げの時間を確保するように取り組んでいきます。

「生徒指導」に関する項目

- 生徒指導は、「個に応じた指導」と「組織的な対応」の評価が高く、家庭と学校で協力して問題を解決していることがわかります。学習だけでなく「生徒指導」も、今までと同様に家庭の協力がなければうまく継続できません。そこで、「深谷の子6つの誓い」を通して、地域、家庭、学校が同じ目線で、子ども達を育てていけたらよいと思います。

「心身の教育」に関する項目

- 「心と体」は、その両方がバランスよく成長していくことが大切です。学校では、全ての場面で子どもの実態に合わせた指導を行っています。主として、道徳や体育の学習を通して指導しますが、学校にいる間全ての場面が指導のチャンスといえます。些細なこと(変化)にも気づき、小さなことでもきちんと支援できるよう、目をかけ、声をかけ、言葉をかけながら日々の指導にあたっていきます。

